

2017 年度後期

国際平和ミュージアム NGO ワークショップ

チョコレート × フェアトレード

～カカオ生産の裏側にある児童労働を考えよう～

普段何気なく手に取っている商品が、どのように作られているか知っていますか？フェアトレードについて学び、私たちの「買う」という行為について一緒に考えてみませんか。

2018 年 1 月 11 日 (木)

18:00～19:30

場所：国際平和ミュージアム 2 階会議室

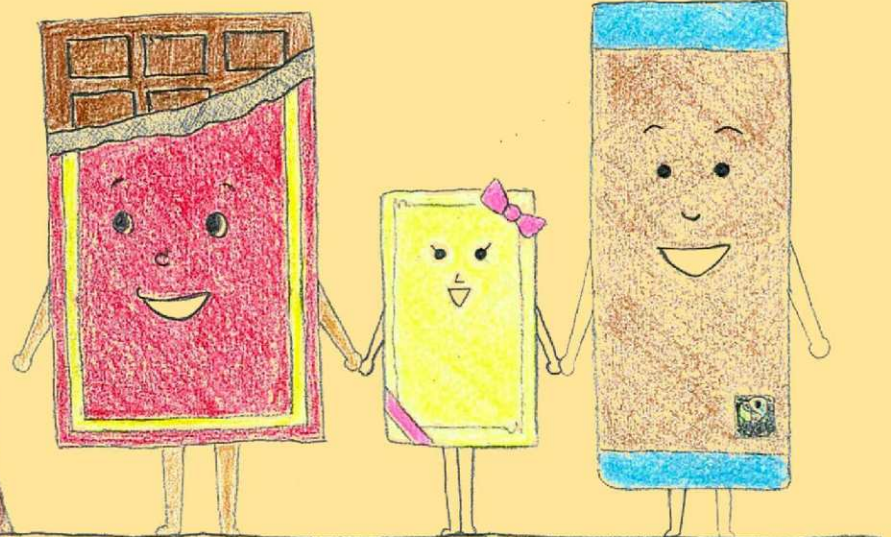
定員：大学生・大学院生 30 名

参加費：無料 (当日参加可！)

申込み：当館 1F 受付窓口もしくは、下記問合せ先まで

TEL：075-465-8151 (9:30～17:00 月曜日、休館日を除く)

MAIL：heiwa-m@st.ritsumeikan.ac.jp



● 講師：^{あきよし}秋吉 ^{めぐみ}恵（立命館大学共通教育機構准教授）

専門は社会開発、農漁村開発（振興）、エンパワメント。自然科学分野から始まった研究生生活を、インドで獣医師として働く中で感じた限界をきっかけに社会科学分野に転じて十数年。家畜飼育の担い手が貧しい女性たちだったために取り組み始めた南アジアの農村開発におけるジェンダーや貧困の問題。その解決の糸口を探すうちに日本の農山漁村に暮らす人々と出会い、彼らの持つ価値や抱える問題に視野が広がっています。農村開発や地域振興において、社会開発のプロセスが生起する場を作り出す計画論を、各地域におけるアクションリサーチによって明らかにしたいと考えています。



当日のスケジュール（予定）

- ① 講師によるレクチャー（30分）
- ② ワークショップ・ディスカッション（20分）
- ③ グループ発表（15分）
- ④ 講評（10分）
- ⑤ 質疑応答（5分）

● フェアトレードとは

フェアトレード（Fair Trade，公平貿易）とは、発展途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の持続的な生活向上を支える仕組みのことです。

主催：立命館大学国際平和ミュージアム
企画：立命館大学国際平和ミュージアム学生スタッフ
 卯滝（文3）田中（文3）村上（法3）
 濱口（産社3）中西（文2）

